

# 平成19年度 千葉県内の国土交通省道路事業のポイント (千葉国道事務所事業詳細)

## 記者発表資料

平成19年4月17日(火)に発表のあった、「平成19年度 千葉県内の国土交通省道路事業のポイント」のうち、千葉国道事務所の平成19年度事業について、別紙のとおり紹介します。

平成19年 4月17日(火)

国土交通省関東地方整備局 千葉国道事務所

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
千葉県政記者会	千葉市政記者会	

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

電話:043-287-0311(代)

副所長(技)	みのさく 箕作	こういち 光一	内線204
計画課長	むとう 武藤	さとし 聡	内線301

# 【事業内容】

## 1. 道路ネットワークの整備（3環状、成田空港へのアクセス）

- (1)一般国道468号首都圏中央連絡自動車道
- (2)一般国道464号北千葉道路

## 2. 湾岸地域の渋滞対策

## 3. 交通安全対策の推進

- (1)レッドゾーン区間の交通事故対策の実施
- (2)「柏地区見える化計画」による総合的対策の実施

## 4. 道路施設の保全

- (1)橋梁耐震補強
- (2)道路構造物補修

## 5. その他地域の渋滞対策

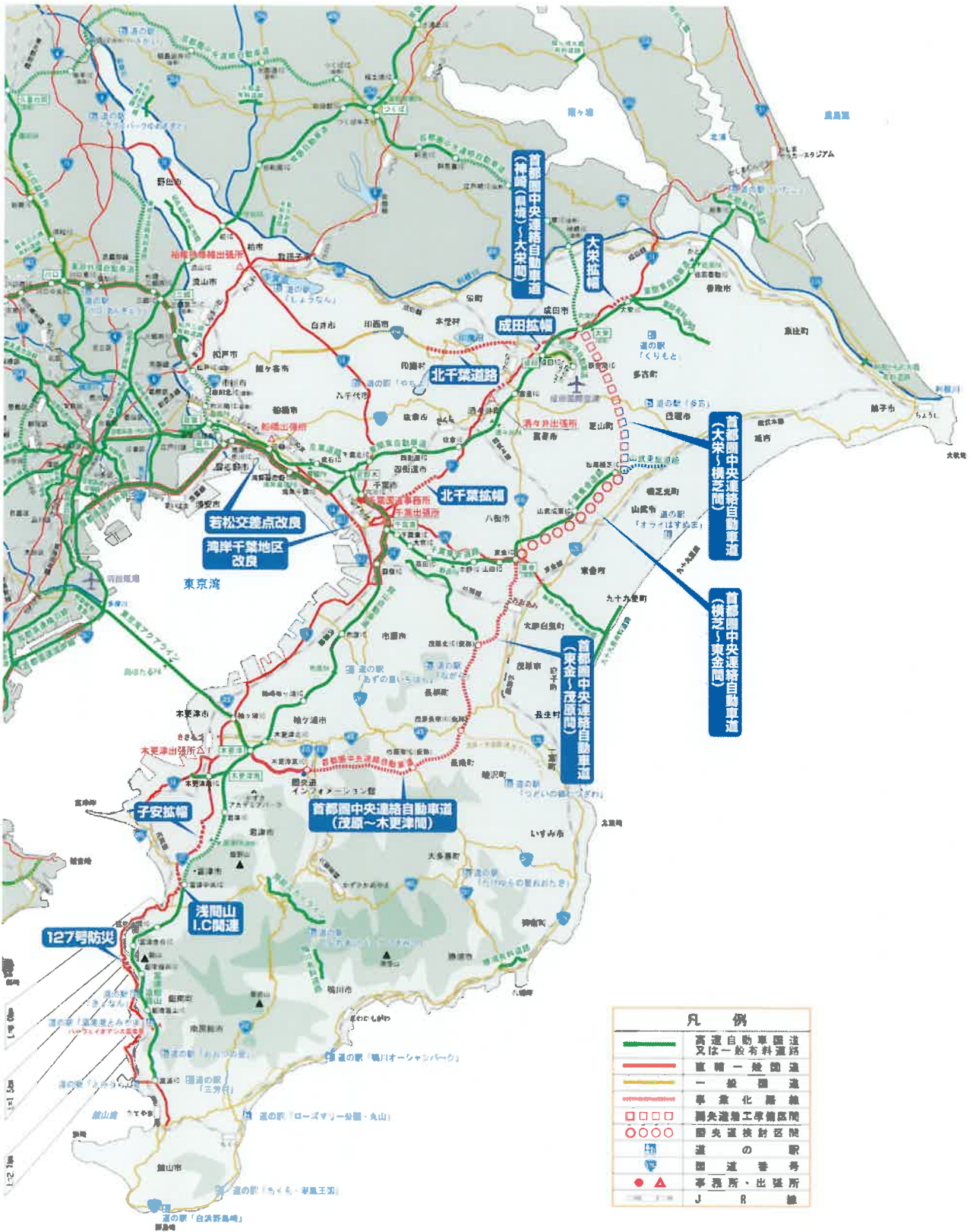
- (1)国道51号
- (2)国道127号関連

## 6. 生活空間の向上等

- (1)幹線共同溝
- (2)電線共同溝
- (3)沿道環境改善
- (4)情報化の推進

## 7. 平成19年度予算総括表

# 千葉県国道事務所管内図



# 1. 道路ネットワークの整備（3環状、成田空港へのアクセス）

## （1）一般国道468号 首都圏中央自動車連絡道

首都圏の都心方向に集中する交通を適切に分散するネットワーク型道路の3環状を形成し、首都圏の中核機能を確保するとともに、地方中核都市における都市構造を再編・再構築する首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備を重点的に推進します。なお、圏央道については「目標宣言プロジェクト」により整備を進めており、開通に向け事業進捗管理を徹底していきます。



### ＜茂原長南IC（仮称）～木更津東IC＞（平成21年度開通目標）

- ・用地取得を推進し、今年度迄に概成を目指します。（用地取得率：90％）
- ・トンネル、橋梁工事などの工事を推進します。  
笠森トンネル（L=2420m）、養老川橋（L=469m）、長南地区改良工事の工事推進  
山口トンネル（L=705m）の工事着手（予定）

### ＜東金IC・JCT（仮称）～茂原長南IC（仮称）＞（平成22年度開通目標）

- ・用地取得を推進します。（用地取得率：64％）
- ・トンネル、橋梁工事などの工事を推進します。  
八幡橋（L=198m）の工事推進  
茂原、長柄、長南地区の改良工事着手（予定）  
真名トンネル（L=952m）の工事着手（予定）

### ＜大栄JCT（仮称）～松尾横芝IC＞

- ・都市計画決定の手続きを行っています。

### ＜茨城県境～大栄JCT（仮称）＞（平成24年度開通目標）

- ・用地取得を推進します。（用地取得率：66％）
- ・改良、橋梁工事などの工事を推進します。  
神崎高架橋（L=163m）の工事推進  
芝第1高架橋（L=259m）の工事推進

※用地取得率は平成19年4月13日現在

## (2) 一般国道464号 北千葉道路

成田空港へのアクセス強化を目指すとともに、地域ネットワークの構築により、沿線地域の交流・連携、物流の効率化などに寄与します。

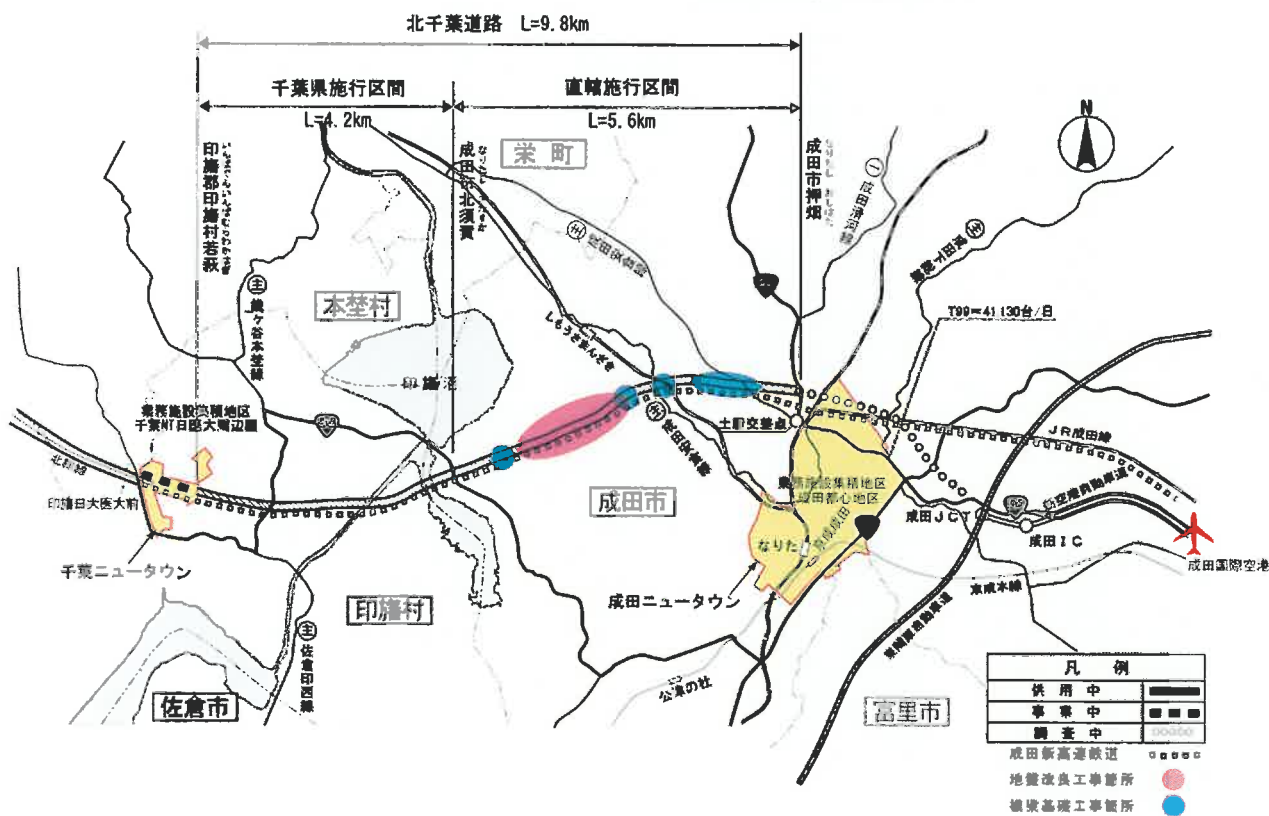
今年度は、用地取得を推進するとともに、成田新高速鉄道と一体的に本格的に工事（軟弱地盤対策および橋梁基礎工事）着手します。

事業名	箇所名	規模	今年度事業内容
国道464号 北千葉道路（印旛～成田）	成田市北須賀 <sup>きたすが</sup> ～成田市押畑 <sup>おしはた</sup>	L=5.6km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査設計推進</li> <li>・用地買収 (取得率 約29%) ※</li> <li>・工事推進</li> </ul>

※用地取得率は平成19年4月13日現在

### 北千葉道路概要

都市計画決定：平成17年12月27日

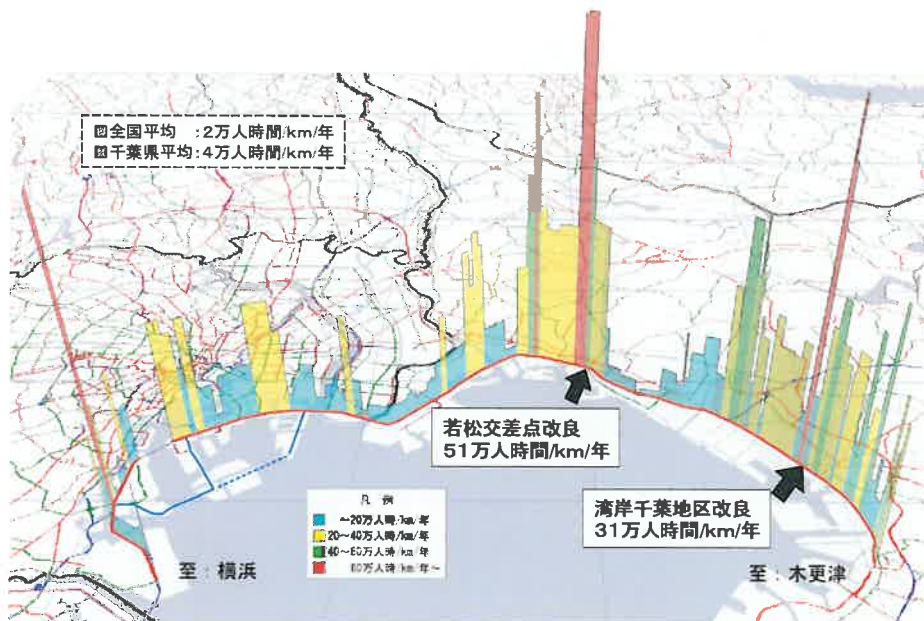


## 2. 湾岸地域の渋滞対策

千葉県交通渋滞による損失時間は全国ワースト7位、全国平均の約2倍。特に、都市部での渋滞が激しく、湾岸地域の渋滞ポイントでは、全国平均の1.5～2.5倍の渋滞が生じています。

事業名	箇所名	規模	今年度事業内容
国道357号 湾岸千葉地区改良	千葉市中央区登戸1丁目 ～千葉市中央区千葉港	L=1.0km	・工事推進
国道357号 若松交差点改良	千葉県習志野市谷津 ～船橋市若松	L=0.2km	・調査設計

### ◇渋滞発生状況図



《若松交差点改良位置図》

《湾岸千葉地区改良位置図》



○例えば、国道357号湾岸千葉地区改良の渋滞を計算すると、登戸交差点から市役所前交差点の約1キロ区間では、渋滞に巻き込まれた人たちが1キロ走る間に損をする時間を1年間合計すると、31万時間にもなる計算。

### 3. 交通安全対策の推進

#### (1) レッドゾーン区間の交通事故対策の実施

##### ○交通安全見える化プラン

交通事故データ等の分析により地域の事故特性や課題を「見える化」し、パブリックコメント等による地域の皆様のご意見を踏まえつつ要対策箇所を選定・公表し、重点的に整備を推進します。

- 【平成19年度事業箇所】
- ◆ 国道14号 幕張4丁目交差点改良 (千葉市)
  - ◆ 国道6号 柏駅西口交差点改良 (柏市)
  - ◆ 国道51号 京成成田駅入口交差点改良 (成田市)

「交通戦争」の頃のような危険な状態にある道路(レッドゾーン)が残っています。

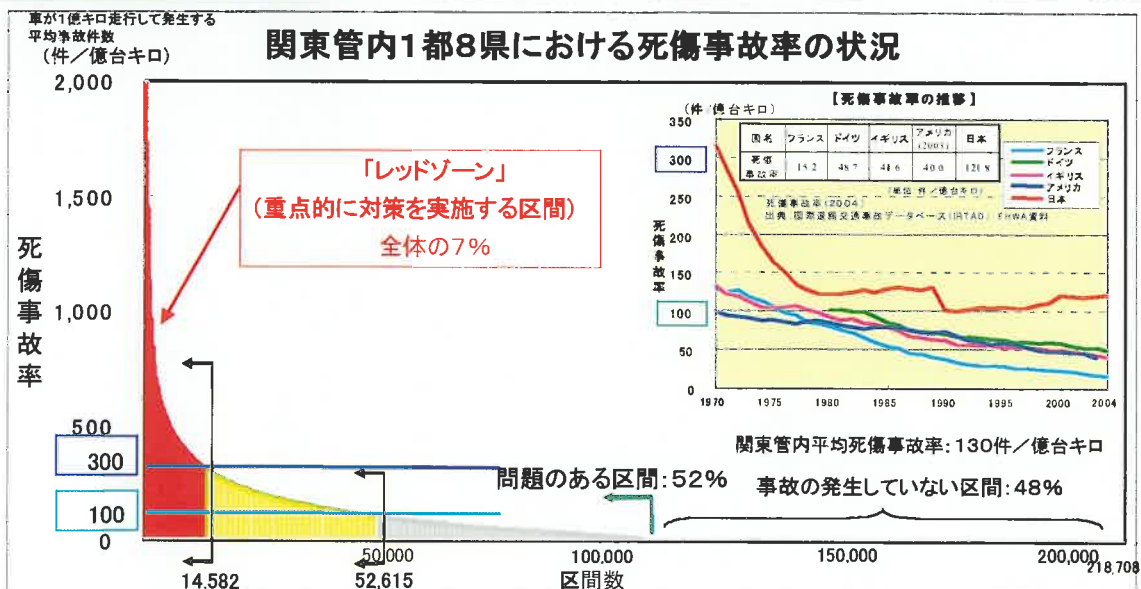
- OS45年の交通事故死者数は1万7千人で、「交通戦争」という言葉が使われました。
- その頃、車が1億km走る間に平均で300件の事故が発生していたことになります。
- 現在は100件まで下がってきましたが、今でも欧米と比較すると高い状況です。
- 交通戦争の頃のように**300件を超える区間(レッドゾーン)**が関東管内の1都8県の国道と都県道にまだ約7%存在します。

レッドゾーン・イエローゾーン以外の区間では、原則として事故対策事業を実施しません。

- わずか**7%**の区間のレッドゾーンに、死傷事故の**30%**が集中しています。
- この区間に集中して対策することが、事故率の低減に直結すると考えました。
- また、**100件を超える区間(イエローゾーン)**も含めた24%の区間に死傷事故の70%が集中しています。

レッドゾーンに集中して対策を実施します。

- 平成19年度は交通事故対策として**19箇所**の事業を展開します。そのうち**12箇所がレッドゾーン**の区間に、**6箇所がイエローゾーン**の区間に該当します。
- これらの厳選された要対策箇所に対して、**集中的な対策**を実施します。
- 平成19年度の交通事故重点対策事業費(約23億円)の内、レッドゾーン区間における対策には、事業費の約76%を充てます。



※関東管内の国都県道3万kmにおける4年間(H13～H16)の事故データから作成

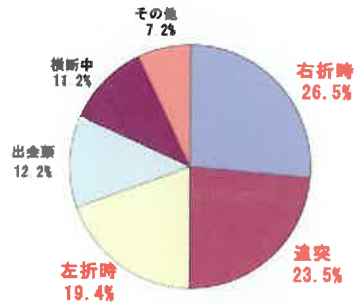
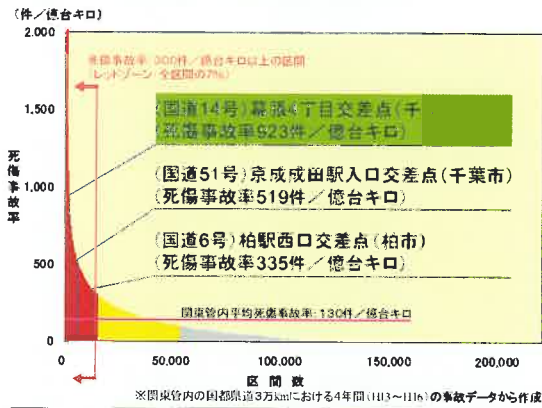
# 国道14号 幕張4丁目交差点

○「国道14号 幕張4丁目交差点」では、死傷事故率が923件／億台キロで、  
 関東管内平均の**約7倍**

## 概要

- ・ 国道14号幕張4丁目交差点は、平成16・17年度 県内事故ワースト1位です。
- ・ 死傷事故率は300件／億台キロを上回り、**レッドゾーン**区間に入っています。

## 死傷事故率・事故類型

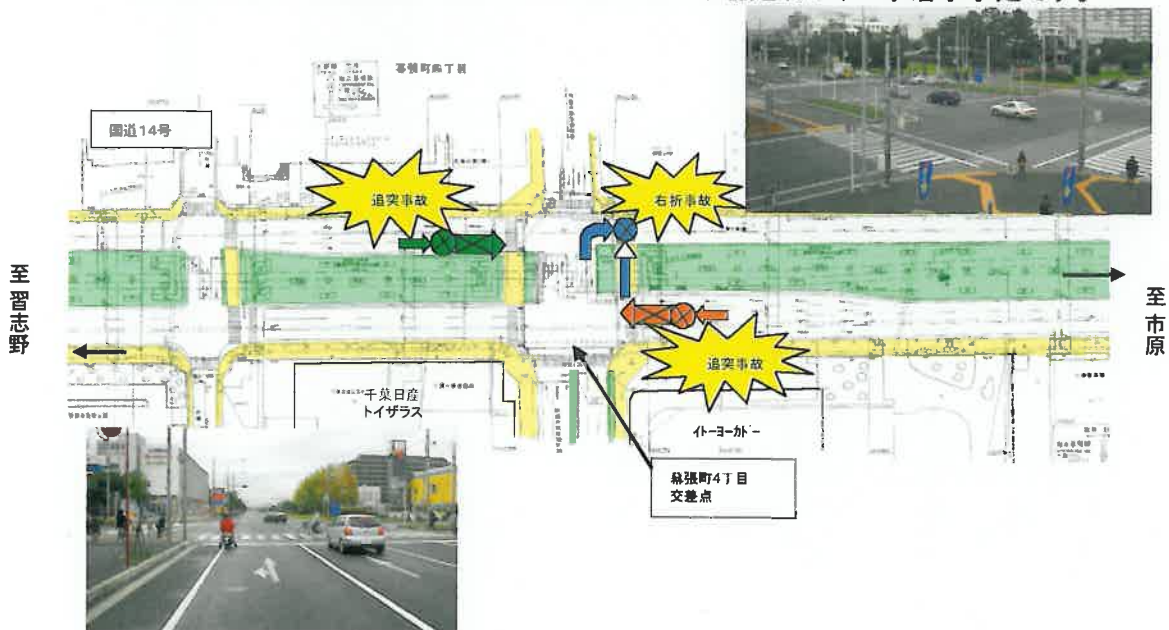


H13-H16の事故類型平均

## 現況事故図および現地写真

・ 歩行者等の交通量が多いため**の右折事故(26.5%)**・線形の良い直線区間であるための**速度超過に起因する追突事故(23.5%)**・左折事故(19.4%)が発生しており、交差点事故の約7割を占めています。

・ 平成19年度は、交通事故対策について設計及び協議を行い、工事着手予定です。





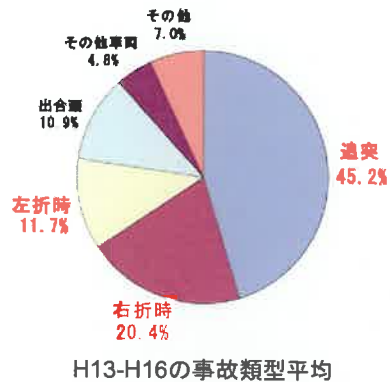
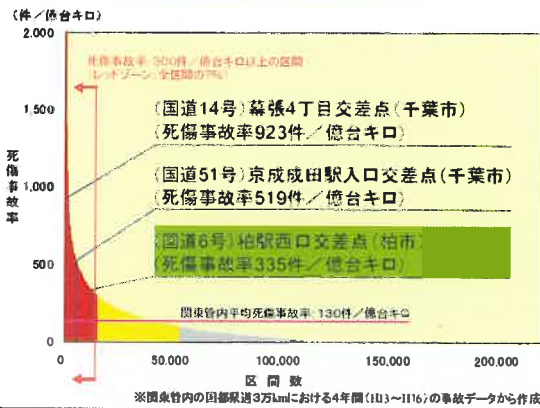
# 国道6号 柏駅西口交差点

○「国道6号柏駅西口交差点」では、死傷事故率が335件／億台キロで、  
関東管内平均の**約3倍**

## 概要

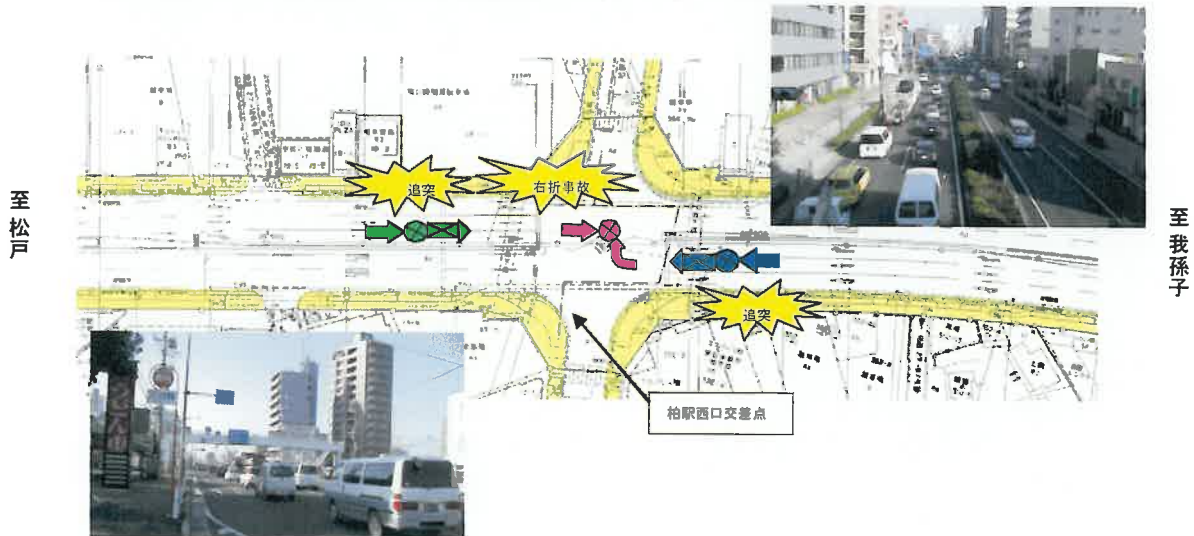
- ・ 国道6号柏駅西口交差点は、柏地区の重点整備地区(特定経路)と、あんしん歩行エリアに位置し、また「柏地区道路見える化計画」事業に選定されています。
- ・ 死傷事故率は300件/億台キロを上回り、**レッドゾーン区間**に入っています。

## 死傷事故率・事故類型



## 現況事故図および現地写真

- ・ 線形の良い直線区間であるため、速度超過に起因する追突事故(45.2%)・右折事故(20.4%)・左折事故(11.7%)が発生しており、交差点事故の約8割弱を占めています。
- ・ 平成19年度は、交通事故対策について、速度抑制のための区画線及び警戒標識等を設置する交差点改良を行い、また歩道のバリアフリー化も併せて実施します。



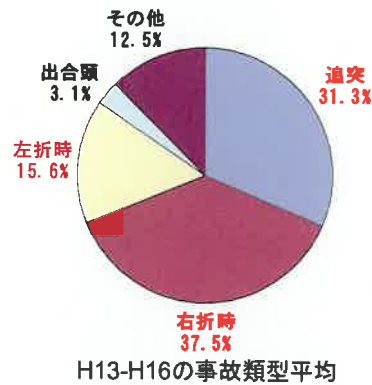
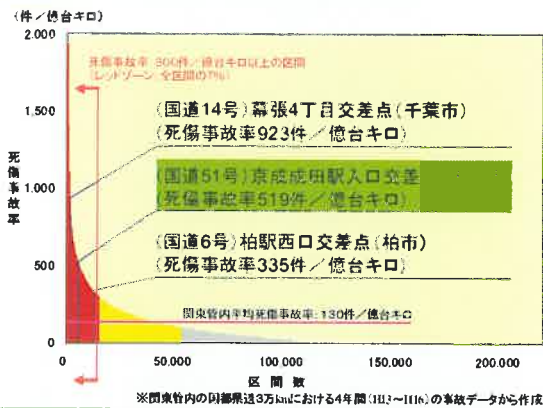
# 国道51号 京成成田駅入口交差点

○「国道51号京成成田駅入口交差点」では、死傷事故率が519件／億台キロで、関東管内平均の**約4倍**

## 概要

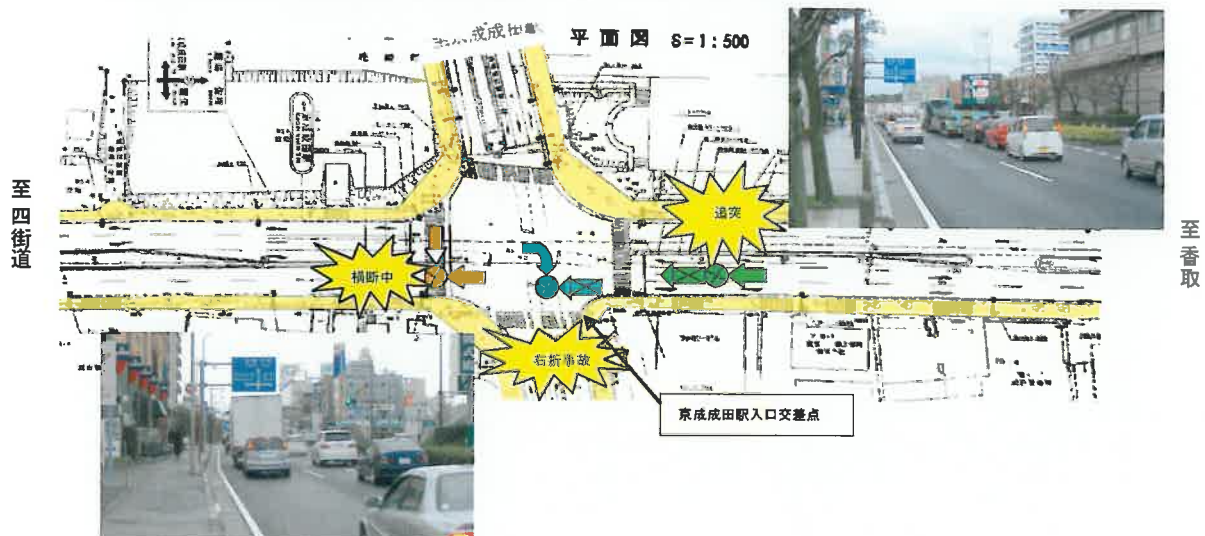
- ・ 国道51号京成成田駅入口交差点は、従道路京成成田駅東口線が交差する広い面積の交差点となっています。
- ・ 死傷事故率は300件/億台キロを上回り、**レッドゾーン区間**に入っています。

## 死傷事故率・事故類型



## 現況事故図および現地写真

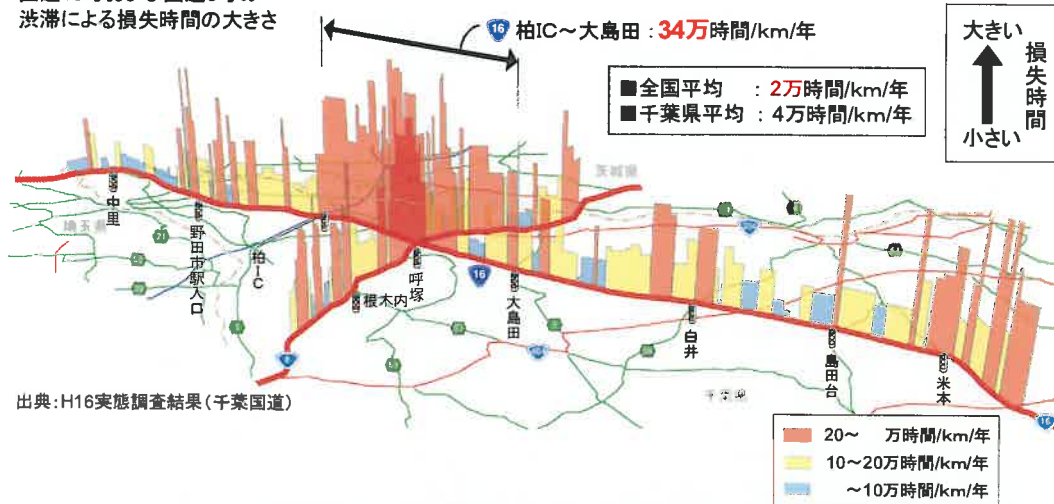
- ・ 線形の良い直線区間であるため、速度超過に起因する追突事故 (31.3%)・右折事故 (37.5%)・左折事故 (15.6%)が発生しており、交差点事故の約8割強を占めています。
- ・ 平成19年度は、交通事故対策について、進行速度抑制のための区画線等、交差点のコンパクト化、右折導流標示などの整備に着手する予定です。



## (2) 「柏地区道路見える化計画」による総合的対策の実施

柏地区では、国道16号と国道6号の交差点である呼塚交差点を中心に慢性的な渋滞が発生。国道16号柏地区（柏IC～大島田）の渋滞による損失時間は、全国平均の約17倍、千葉県平均の約9倍混んでいる。

国道16号および国道6号の  
渋滞による損失時間の大きさ



出典：H16実態調査結果（千葉国道）

柏地区において渋滞緩和、交通事故対策を集中的に実施する「柏地区道路見える化計画」をとりまとめ、平成18年12月から工事に着手しています。今後も、各種対策を推進します。なお、平成19年度は以下の箇所で行います。



### 工事着手内容

- ①バスベイ設置 : 国道16号で3箇所の工事着手予定
- ②柏西口駅前交差点改良 : 国道6号の柏西口側で工事着手予定
- ③歩道のバリアフリー化 : 国道6号の柏西側で工事推進中
- ④呼塚交差点改良 : 工事に先立ち現地調査を実施中。工事着手予定
- ⑤電線の地中化 : 国道16号、6号の電線共同溝工事を推進中

①バスベイ設置：国道16号で3箇所の工事着手予定

- ・葉山バス停（外回り）工事着手予定
- ・弥生町バス停（内、外回り）工事着手予定

◇現在の状況と整備イメージ



②柏西口駅前交差点改良：国道6号の柏駅西口側で工事着手予定

- ・国道6号柏駅西口交差点は、柏地区の重点整備地区（特定経路）と、あんしん歩行エリアに位置しています。
- ・死傷事故率は300件/億台キロを上回り、レッドゾーン区間に入っています。

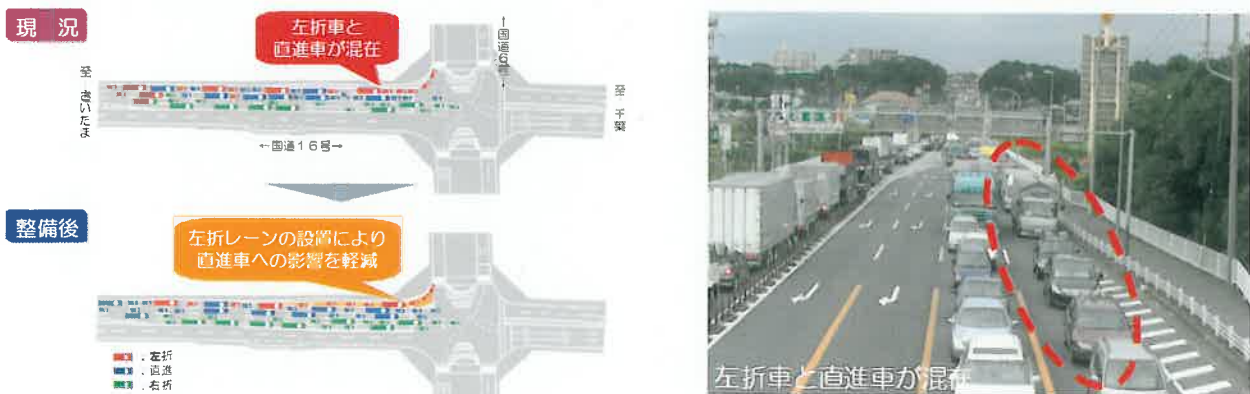
③歩道のバリアフリー化：国道6号の柏駅西側で工事推進中

- ・国道6号旭町交番交差点～柏駅西口交差点間のうち、約300m区間で歩道を広げる準備として中央分離帯を狭める工事が完成。
- ・歩道のバリアフリー工事は、平成19年度内（平成20年3月迄）を目途に整備を進めます。

④呼塚交差点改良：工事に先立ち現地調査を実施中。工事着手予定

- ・工事に先立ち、呼塚交差点付近において工事の支障となる埋設物や照明、信号等の現況調査を実施しています。平成19年度工事着手予定です。
- ・死傷事故率は300件/億台キロを上回り、レッドゾーン区間に入っています。

◇交差点改良整備イメージ



⑤電線の地中化：国道16号、6号の電線共同溝工事を推進中

- ・柏市中十余二～若柴、柏市柏、柏市南柏～旭町の電線共同溝を整備します。

## 4. 道路施設の保全

### (1) 橋梁耐震補強等

緊急輸送道路の耐震補強3箇年プログラム（H17～H19）（千葉国道対象橋梁 全86橋）を重点的に実施し、安全で信頼性の高い道路網を確保するため、防災・震災対策を重点的に進めます。

路線名	箇所名	今年度事業内容
国道357号	市川大橋（市川市上妙典 <sup>かみみょうでん</sup> ）	・橋脚補強、落橋防止
国道127号	金谷橋（富津市金谷 <sup>かなや</sup> ）	・落橋防止

他

(対策実施例) 《国道6号新葛飾橋耐震補強対策 橋脚補強》 松戸市上矢切<sup>かみやきり</sup>



【施工前】



【施工後】

《国道6号呼塚橋耐震補強対策 落橋防止》 柏市呼塚新田<sup>よばづかしんでん</sup>



【施工前】



【施工後】

### (2) 道路構造物補修等

高度成長期に多数建設された道路構造物の補修等については、トータルコストの縮減などを目指して、トンネルや橋梁、防災対策等の定期点検を実施しながら効率的・重点的な維持管理を行います。また、路面（車道、歩道）の陥没を未然に防ぐために、路面下の空洞調査を継続して行い、計画的に補修します。

路線名	箇所名	今年度事業内容
国道14号	検見川跨道橋（千葉市花見川区 <sup>けみかわこうきょう</sup> ）	・橋梁補修
国道357号	海老川大橋（船橋市浜町 <sup>えびかわ</sup> ）	・橋梁補修

他

## 5. その他地域の渋滞対策

### (1) 国道51号

国道51号 北千葉拡幅	千葉県若葉区貝塚町 ～四街道市成山	4車線拡幅 L=7.6km うち2.7km 開通済	千葉市区間 ・用地買収 ・工事推進 ・H19千葉市区間 開通予定 L=1.6km
国道51号 成田拡幅	成田市並木 ～成田市東金山	4車線拡幅 L=5.8km うち4.6km開通済	・用地買収推進
国道51号 大栄拡幅	成田市桜田 ～成田市所	4車線拡幅 L=1.5km	・用地買収推進



《国道51号千葉市若葉区若松町（北千葉拡幅）》

### (2) 国道127号関連

国道127号 子安拡幅	君津市小山野 ～木更津市桜井	4車線拡幅 L=10.7km うち8.0km開通済	・用地買収推進 ・工事推進
国道127号 浅間山IC関連 (富津中央IC)	富津市鶴岡	IC接続部 L=0.4km開通済 取付部改良 L=1.4km	IC接続部 平成16年度開通 ・現道部工事促進

## 6. 生活空間の向上等

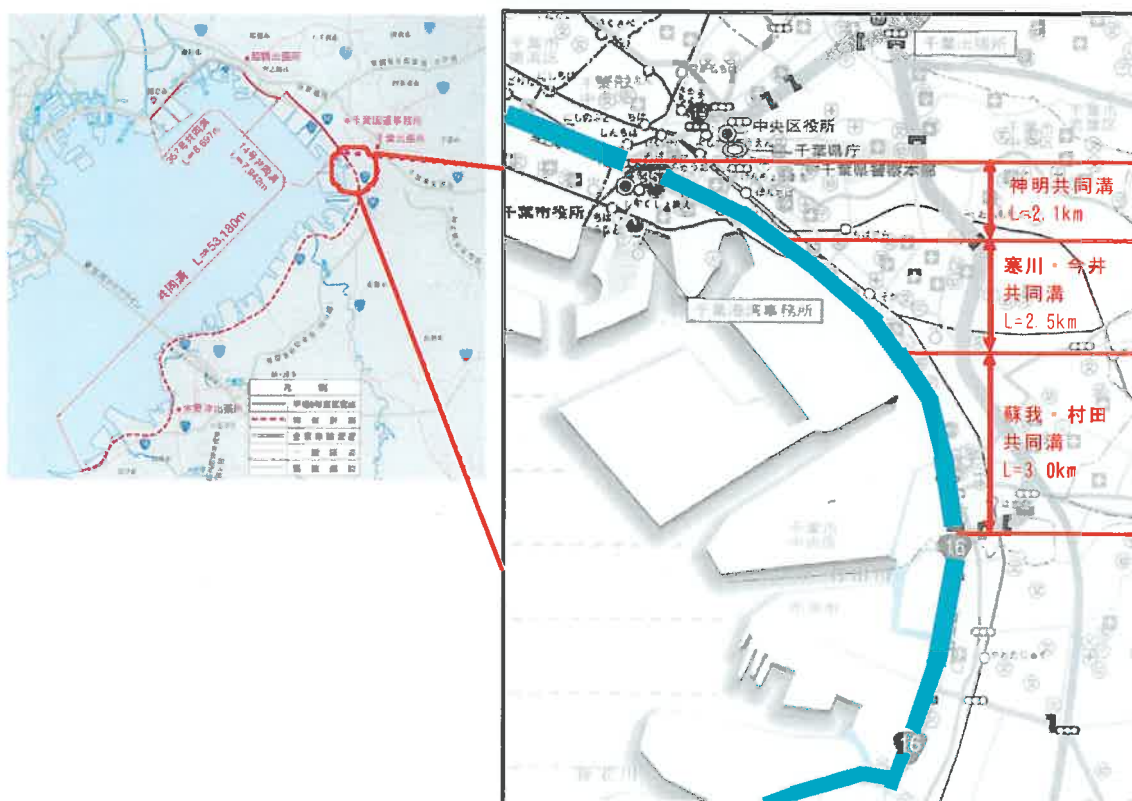
### (1) 幹線共同溝

ガス、電気、上下水道など、日常の生活に欠かせないライフラインを車道の下にまとめて収納する共同溝を整備することにより、道路の掘り返し工事の防止、地震などの災害に強い都市づくり、ライフラインの安全性の確保、工事渋滞の軽減、環境の保全を図ります。なお、下記共同溝は平成20年度完了予定で事業を推進しています。

また、路上工事に伴う交通規制時間の縮減を図るため、路上工事実施日時の管理の徹底、夏の観光シーズン・年末年始・年度末など交通渋滞の発生しやすい時期の工事を抑制します。

事業名	箇所名	規模	今年度事業内容
国道357号	神明共同溝 しんめい	千葉市中央区登戸 <sup>のぶと</sup> ～千葉市中央区寒川 <sup>さむかわ</sup> L=2.1km	・ 附帯設備 ・ 立坑
国道357号	寒川・今井共同溝 さむかわ いまい	千葉市中央区寒川 <sup>さむかわ</sup> ～千葉市中央区蘇我町 <sup>そがちょう</sup> L=2.5km	・ 附帯設備
国道357号	蘇我・村田共同溝 そが むらた	千葉市中央区蘇我町 <sup>そがちょう</sup> ～千葉市中央区村田町 <sup>むらたちょう</sup> L=3.0km	・ 立坑、シールド ・ 附帯設備

共同溝位置図





【共同溝整備前】



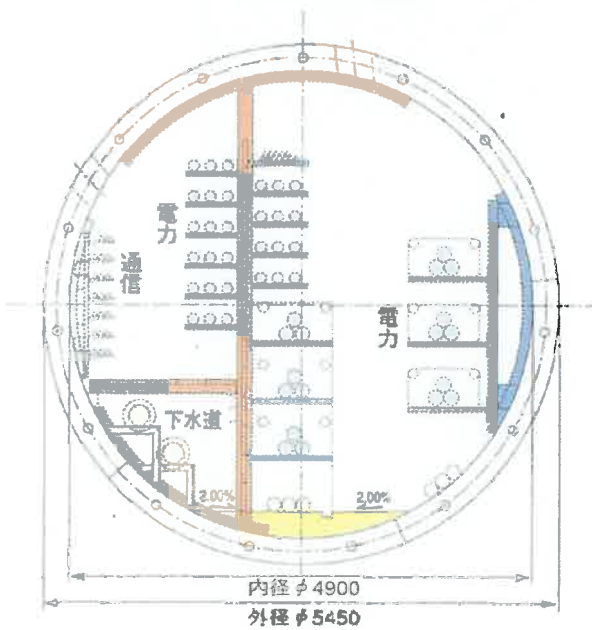
【共同溝整備後】



【イメージ図】



【神明共同溝坑内状況図】



【神明共同溝標準断面図】

【参画企業】

- ・ 東京電力
- ・ KDDI
- ・ NTT
- ・ 下水道（千葉市）



## (2) 電線共同溝 (CCBOX)

都市景観や防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保等を図るため、千葉県内の直轄国道における「無電柱化推進計画 (H16~20)」(整備延長約6.3km)に基づき、電線類の地中化を引き続き重点的に進めます。

路線名	箇所名	規模	今年度事業内容
国道6号	みなみかしわ あさひちよう 柏市南 柏~旭 町	L=1.30km	・電線共同溝本体施工
国道16号	なかとよふた わかしぼ 柏市中十余二~若柴	L=1.95km	・電線共同溝本体施工

他

### 《 国道6号 柏電線共同溝 》



【整備前】



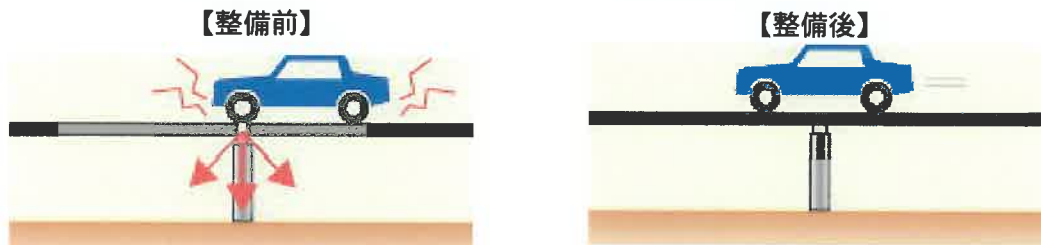
【整備後】

### (3) 沿道環境改善

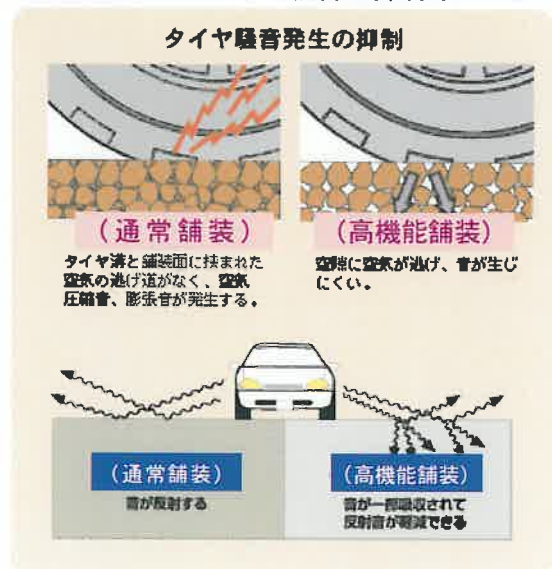
騒音や大気質を改善するため、騒音低減に効果のある高機能舗装の敷設などを重点的に実施する沿道環境改善事業を進めます。

路線名	箇所名	今年度事業内容
国道126号	千葉市若葉区高根町	・高機能舗装 (L=1.1km)
国道16号	千葉市稲毛区长沼町 (長沼跨道橋) 千葉市若葉区貝塚町 (貝塚橋) 市原市八幡海岸通り (八幡橋)	・ノージョイント化 ・ノージョイント化 ・ノージョイント化
国道127号	木更津市桜井 (桜井橋)	・ノージョイント化

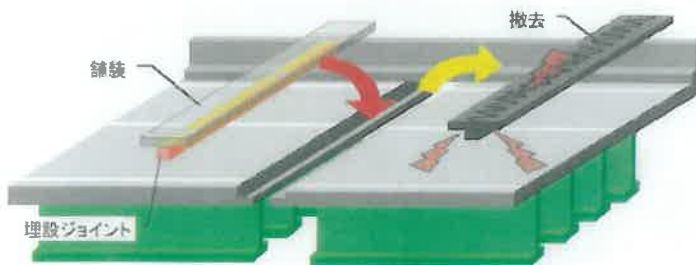
《 橋梁部のノージョイント化による交通騒音低減イメージ 》



《 高機能舗装によるタイヤ騒音の抑制イメージ 》



《 橋梁部ノージョイント化イメージ 》



## (4) 情報化の推進

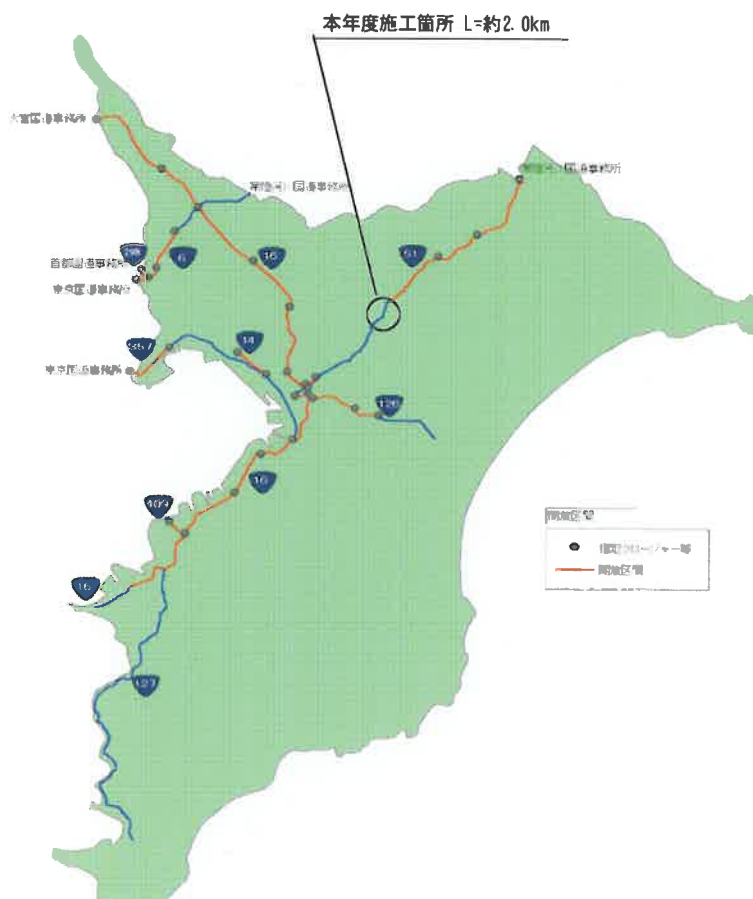
ITを活用し、より安全で快適な移動を支援するため、情報提供・収集装置等のITSサービスの導入等、道路の情報化を進めます。

加えて、道路の異常や災害に迅速に対応するため、光ファイバー等のネットワークの高度化を進めるとともに、ITを活用して道路管理の効率化を進めます。

また、経済活性化を支援するため、従来より整備を行ってきた道路管理用光ファイバー及び收容空間の民間事業者への開放を進めます。

路線名	箇所名	規模	今年度事業内容
国道 51号	酒々井町酒々井	約2.0km	光ケーブル地中化

【千葉国道事務所管内 光ファイバー開放区間】



## 7. 平成19年度予算総括表

平成19年度は、交通円滑化・地域連携・共同溝・維持修繕・交通連携・沿道環境改善・交通安全・交通事故・電線共同溝等総額約408億円の予算により、道路整備等の推進を図ります。

(単位：百万円)

予 算 項 目	平成19年度
交通円滑化事業費（新設・改築）	19,503
地域連携推進事業費（改築）	1,472
交通連携推進事業費	1,790
沿道環境改善事業費	538
沿道環境改善事業費（改築）	3,700
交通事故重点対策事業費	2,335
交通安全施設等整備事業費	1,257
直轄道路維持修繕費	4,225
共同溝（交通円滑化事業費、地域連携推進事業費）	1,164
電線共同溝整備事業費	3,587
小 計	39,571
附 帯 工 事 費	1,109
受 託 工 事 費	145
合 計	40,825

※道路事業調査費は除く

※直轄道路維持修繕費には建設機械整備費を含む